

近年の大量生産・大量消費・

大量廃棄の社会経済は、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を増加させ、地球温暖化の原因として大きな問題となっています。

2005年2月には京都議定書が発効し、2012年までに1990年と比べて温室効果ガスの排出量を6%削減することが義務づけられ「チーム・マイナス6%運動」などのさまざまな

な取組が行われてきました。

昨年の9月には、国連気候変動サミットにおいて2020年までに温室効果ガスの排出量を25%削減(1990年比)することが表明され、今年1月から「チャレンジ25キャンペーン」として新たな国民運動が始まりました。

洞爺湖町としても、優れた自然環境を次の世代に良好な状態で引き継ぐことができるように

「チャレンジ25キャンペーン」に参加することになりました。

町民のみなさんにも参加していただき、全町あげて温暖化防止に取り組んでいきましょう。インターネットで参加登録できます。

チャレンジ25キャンペーンホームページ(<http://www.dallangas.jp/>)では、温暖化防止の取組情報や参加登録ができます。

洞爺湖町の環境白書

洞爺湖町環境基本条例では、目標とする環境像『湖・山・海とともに歩む心豊かなまち』を実現するために、環境基本計画を定め、その取組状況を公表することとなっています。

そこで、今月号では「ミニ環境白書」として、町の環境への取組をみなさんに報告します。

普及・啓発活動

環境問題としてだけでなく、縄文シティサミット事業との共同展開として環境ひろばと縄文体験広場を共催するなど地域の文化活動とも連携した取組を実施しました。

地球温暖化防止に向けた取組

石油などの化石燃料からの転換を目指し「洞爺湖町地域新エネルギービジョン」を策定しました。今後、町民のみなさんに内容を簡単にまとめた概要版を配布します。

緑化活動

これまで町民植樹祭として桜公園内に桜苗木300本を植栽するとともに、北海道との共催による「サミット記念の森」事業を展開し、温室効果ガスの吸収効率の高い「クリーンラーチ」など、約400本の植栽や下草刈りなどの体験活動を行いました。22年度以降も継続して実施していく予定です。

環境調査

洞爺湖町の自然環境・生活環境を守るため、毎年、環境調査を実施しています。湖・海・河川の水質や臭気測定などの環境調査を行っており、今年度の調査では問題となる項目はありませんでした。特に、洞爺湖畔では観光客やキャンプ場利用者が水遊びなどをすることもあるため、水質調査を重点的に行い、公衆水浴場の水質基準と比較しても問題ない結果となっています。

「チャレンジ25キャンペーン」に参加しよう!
地球温暖化防止国民運動

